

コベルコ建機

適用範囲		モデル名		SK50UR- 5	
		仕様		後方小旋回	
		適用号機		YJ07-09501～	
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値	
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度		2350±50	
		ハイアイドルリング	min ⁻¹	1025±50	
		ローアイドルリング	min ⁻¹	(60～90)	
		(冷却水温)	(℃)	(50～60)	
		(作動油温)	(℃)		
	弁すき間	吸気弁 隙間	mm	0.15～0.25	
		排気弁 隙間	mm	0.15～0.25	
		(測定条件)	(℃)	(冷態時)	
		圧縮圧力又は気筒間圧縮圧力差	MPa	3.06～3.26	
燃料装置	燃料装置	噴射ノズルの燃料噴射開始圧力	MPa	19.6	
			kgf/cm ²	200	
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	7～10	
		[測定位置・条件] (中間を指で押す力) kgとNの両方で表記	N・m kgf	ウオータポンプ～オルタネータブリー間 〔 98 〕 〔 10 〕	
走行装置	走行性能	最高速度	秒	22.5	
		ゴム	秒	22.4	
		鉄	秒	クローラ5回転／高速モード	
		[測定方法・条件]		[図-01]	
	(クローラベルト)	ゴムベルト	張り (たわみ量)	80～90	
		[測定方法・条件 (図面番号表示)]		[図-02]	
		鉄シュー	張り (たわみ量)	160～180	
		[測定方法・条件 (図面番号表示)]		[図-02]	
リンクピッチの伸び	リンクピッチの伸び	[測定方法・条件]	mm	135.0	
				〔1リンクピン間距離〕	
	履板取付けボルト締付けトルク	N・m		216.0	
		kg・m		22	
トルクレンチ	トルクレンチ	[測定方法・条件]		〔トルクレンチ〕	
	トルクレンチ	N・m		216.0	
		kg・m		22	

コベルコ建機

適用範囲		モデル名		SK50UR- 5		
		仕様		後方小旋回		
		適用号機		PYJ07-09501～		
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値		
作業装置	作業機自然降下	バケット先端位置	mm	102		
		(測定時間)	(分)	(10)		
	(作動油温)	(℃)	(50～60)			
	作業装置姿勢		[図-03]			
	シリンダ自然伸縮	ブームシリンダ	mm	6		
		作業装置姿勢		[図-03]		
		(図面番号表示)		12		
		アームシリンダ	mm	[図-03]		
		作業装置姿勢		6		
		(図面番号表示)		[図-03]		
バケットシリンダ	mm	6				
作業装置姿勢		[図-03]				
(図面番号表示)		6				
ブレードシリンダ	mm	[図-03]				
作業装置姿勢		[図-03]				
(図面番号表示)		[図-03]				
(測定時間)	(分)	(50)				
(作動油温)	(℃)					
作業機速度	ブーム上げ 作業装置姿勢 (図面番号表示) アームシリンダ伸ばし 縮め 作業装置姿勢 (図面番号表示) バケットシリンダ伸ばし 縮め 作業装置姿勢 (図面番号表示) 性能測定条件 (荷重・設定モード等)	sec	2.4±0.3			
			[図-04]			
		sec	3.0±0.3			
		sec	3.7±0.3			
			[図-05]			
		sec	3.0±0.3			
		sec	2.3±0.3			
			[図-06]			
		[	無負荷			
		]				
油圧装置	油圧回路設定圧力	主回路設定圧力	MPa	22.6		
		性能測定条件 (設定モード等)	kgf/cm2	230 [エンジン：ハイアイドル 作動油温：50℃]		
動力伝達装置	旋回ベアリング取付けボルトの締付け	アウトレース取付けボルトの締付けトルク	N・m kgf・m	—		
		インナレース取付けボルトの締付けトルク	N・m kgf・m	181.0 18.5		
	旋回減速機取付けボルトの締付け	油圧モータ取付けボルトの締付けトルク	N・m kgf・m	279.5 28.5		
		旋回減速機取付けボルトの締付けトルク	N・m kgf・m	—		
	備考					

コベルコ建機

適用範囲		モデル名	SK50UR- 5	
		仕様	後方小旋回	
		適用号機	YJ07-09501～	
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	旋回 作業装置姿勢 (図面番号表示)	sec	12.7～13.9 [図-07]

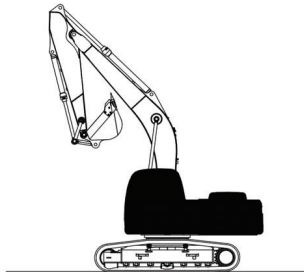
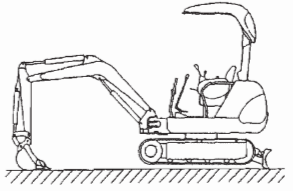
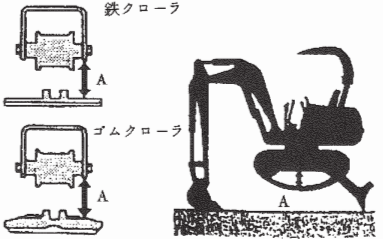
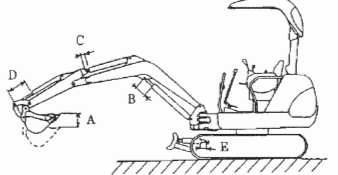
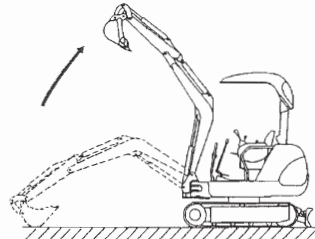
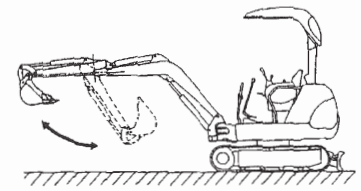
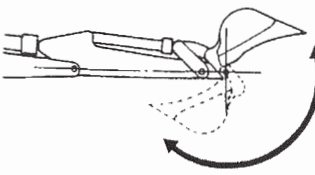
項目	測定方法
旋回速度	・エンジン：ハイアイドル ・作動油温：50℃±5℃ ・作業モード；S又はMモード ・クッションストロークを除く作動時間 ・バケット空荷で平坦地 ・ブームシリンダ/アームシリンダ/バケットシリンダ最伸 方 法 旋回レバーをフルストロークを操作し旋回する。 一回転助走後の二回転に要する時間を測定し、 一回転当りの所要時間を算出する。 

図-07

走行速度 (5 回転) ・エンジン 定格回転 ・作動油温 50℃ ～ 60℃ ・測定姿勢 ホウアタッチメントとドーザを使用し、車体を持ち上げる。 ・クローラシュを回転させ、2 回転目より数え、5 回転するまでに要する時間を測定する。(等速回転後の測定)	 図-01
クローラの張り ・ホウアタッチメントとドーザを使用し、車体を持ち上げる。 クローラフレーム中央部におけるフレーム下面とクローラシュ上面とのすきまを測定する。 注) ゴムクローラの場合は、“M” マークの印された継目部を上部中央にして測定すること。	 図-02
シリンダ自然降下量 ブーム、アーム、バケット、ドーザ、バスケット先端 ・エンジン 停止 ・作動油温 50℃ ～ 60℃ ・測定姿勢 ドーザ、アームシリンダは最縮小、バケットシリンダは最伸長とし、ブームフットピンとバケットピンの高さを同一にする。 ・測定姿勢を 10 分間保ち、その間に变化したロッドの長さ、及びバケット先端での変化量を測定する。	 図-03

ブームシリンダ速度 ・エンジン 定格回転 ・作動油温 50℃ ～ 60℃ ・測定姿勢 アームシリンダを最縮小、バケットシリンダは最伸長とする。ドーザを設地させる。 ・バケットの設置位置 (最高上げ位置) から、最高上げ位置 (地上設置位置) までの所要時間を測定する。(クッション作動時間は含まない)	 図-04
アームシリンダ速度 ・エンジン 定格回転 ・作動油温 50℃ ～ 60℃ ・測定姿勢 アームシリンダを最縮小、バケットシリンダは最伸長とし、アームを水平にする。ドーザを設地させる。 ・アームシリンダの最伸長時 (最縮小時) から最縮小時 (最伸長時) までの時間を測定する。	 図-05
バケットシリンダ速度 ・エンジン 定格運転 ・作動油温 50℃ ～ 60℃ ・測定姿勢 アームシリンダを最縮小にしてアームを水平にする。ドーザを設地させる。 ・バケットシリンダの最伸長時 (最縮小時) から最縮小時 (最伸長時) までの時間を測定する。	 図-06